



横田小だより

令和5年4月25日 発行
高岡市立横田小学校



横田小 HP

研 精 魂

- ・誠実なれ
- ・親切なれ
- ・勇気を起こせ

いよいよ閉校の年

校長 荻沢 芳美

色とりどりの花が横田小に咲きほこり、柔らかな春の風情を感じながら令和5年度がスタートしました。先日の入学式では、22名の新1年生を迎え、全校児童142名となりました。1年生の元気な姿に横田小がますます活気づいたように感じます。子供たちの生き生きとした表情やノートの文字、発表時のピンと伸びた手や委員会活動の様子からは、新しい学年に踏み出した喜び、やる気がひしひしと伝わってきます。

そして、今年度は、明治7年から続く横田小学校が149年の歴史に幕を下ろします。子供たちが見せる明るく素直で何事にも一生懸命に取り組む姿、上学年が下学年の面倒をよくみる姿、体をかけてよく働く姿は、先輩から後輩へと受け継がれてきたすばらしい伝統だと思います。また、家庭・地域の結束力の高さも大きな誇りです。横田小学校がなくなることは、寂しくもあり感慨深いものであります。子供たちには、この先、統合してもこれまで以上に横田の強みを生かし、自信と誇りをもってたくましく成長して行ってほしいと思います。

大切な閉校の年に、本校の教育活動に携わることができることに感謝し、保護者、地域の皆様のお力添えをいただきながら、閉校に向けての準備、学校教育の更なる充実と子供たちの幸せのために教職員一同、誠心誠意力を尽くしていく所存です。どうぞ、よろしくお願いいたします。

人事異動のお知らせ

転入教職員 よろしくお祈りします。

教諭
教諭
教諭
教諭
少人数指導
養護助教諭
主任調理員
事務職員
外国語指導講師
外国人相談員
スタルノ・アドバイザー



退職・転出教職員 ありがとうございました。

教諭
教諭
教諭
外国人指導
事務職員
調理員



マスクを外した子供たちの笑顔は最高です

長かったコロナ禍での学校生活も、4月から少しずつ本来の生活を取り戻しつつあります。授業では、ペアやグループ学習が可能となりました。給食は、マナーの指導を徹底した上で、黙食から会食へと段階的に進めています。始業式で、そのことを子供たちに話した途端、思わずガッツポーズをする子や、笑顔で顔を見合わせる姿がありました。この時を心待ちにしていたようです。また、晴れた日のグラウンドでは、みんなマスクを外して走り回っています。子供たちの笑顔、元気な声が戻ってきました。マスクを外した子供たちの笑顔は最高です。



子供が主役！ ～合言葉は「ふるさと横田を胸に・・・」～



学校行事は、単に3年前と同じ内容に戻すのではなく、行事の趣旨を改めて問い直すチャンスだと考えています。これまで、行事内容をこなすことに精一杯になっていなかったか、大人が段取りし過ぎて子供たちの主体性の芽を摘んでいなかったか、子供にどんな力をつけるべきか協議を重ね、見直しを図っています。

5月20日（土）の運動会では、児童会を中心に「閉校に向けた特別企画」を考えているようです。先日、子供たちが校長室を訪れ、ユニークな提案を示してくれました。閉会式にて保護者や地域の方々もみんな巻き込んで実施したいとのこと。横田小最後の運動会の思い出を胸に刻み、くいのないようやり遂げたいという子供たちの意気込みを感じました。

主役は横田の子供たち。閉校年の合言葉は「ふるさと横田を胸に・・・」です。これから、子供たち一人一人が、どんなことを胸に刻み、ふるさと横田への思いを創り上げていくのか楽しみです。

運動会当日、上記の「閉校特別企画」の後、子供たち・保護者・地域の方々と共にドローンによる記念撮影を予定しております。「閉校記念誌」に写真を掲載予定です。皆様、ご協力の程よろしくお願いいたします。



統合3校交流活動・小中連携 より一層充実を図っていきます

閉校の年は、これまで以上に統合3校の交流活動を積極的に進めてまいります。

3校合同宿泊・校外学習、城光寺での合同陸上練習や半日体験入学（於：西条小）に加え、高岡西部中学校との小中連携も推進していきます。中学校の先生による陸上、美術の乗り入れ授業、児童会&生徒会活動の連携等、子供たちが考える創意あふれる活動を積極的に実施していきます。他校の子供たちとの関わりを通して、改めて自分や横田小のよさに気づく場も増えると考えています。

併せて、閉校記念誌の編集、9月の閉校イベント、新通学路の調整・見直し等、地域・保護者の皆様のお力添えをいただきながら進めてまいります。

「ふるさと学習」の推進 ～地域の方々とともに 弥栄節&御印祭に向けて～

地域の伝統文化である「弥栄節踊り」を、保存会の方々の協力を得ながら伝承する取組を行っています。今年度は4年ぶりに運動会で披露します。また6月19日の「御印祭」前夜の「弥栄節町流し」には地域の一員として、高学年児童中心に参加します。子供たちから大人へと受け継がれていることを実感し、鑄物発祥の地、金屋町を校区に有する3校で、地域に出かけ、人と出会い、体験を通して校区のよさに気付くことができる絶好の機会です。詳細については後日お知らせします。

